

ALBIREX RACING TEAM レースレポート

2017 年 全日本 F3 選手権 第 1 戦 岡山国際サーキット

2017 年 アルビレックスレーシングチーム始動

2017 年の全日本 F3 選手権が岡山国際サーキットで開幕を迎えました。アルビレックスレーシングチームは、全日本 F3 に新規参入となるメルセデスエンジンで戦うブルーノ・カルネイロ選手、そしてトヨタ・トムスエンジンで F3-N 参戦となる長谷川綾哉選手の 2 名が出場。レースウィーク初走行となる木曜日から精力的に周回を重ねていきました。

1 つの週末に 3 レースを行うことになっている今大会では、公式予選は 1 セッションのみ。このセッションでのベストタイムによって第 1 戦のスターティンググリッドを決定します。ブルーノ選手は 8 番手、長谷川選手は表彰台圏内となる F3-N の 2 番手グリッドを獲得しました。

午後 1 時 25 分にフォーメーションラップが始まり、決勝レースがスタート。ブルーノ選手はスタートで 1 つポジションを後退し、9 番手でレースを進めていくことになりました。中盤に 2 台にかわされたものの、体力的にも厳しくなり、タイヤのパフォーマンスも低下してくる終盤に自己ベストラップを記録。大きなミスもなく 25 週のレースを走り切り、11 位完走を果たしました。

長谷川選手はスタート手順に手間取り、F3-N の 4 番手に後退。初めての F3 レースで緊張を隠せず、序盤はラップタイムも安定しませんでした。徐々に慣れてくると後半にはペースを上げ、F3-N の 5 位でチェッカーを受けました。

#21 ブルーノ・カルネイロ (AlbirexRT-WILSON: ダラーラ F315/ Mercedes-Benz 414)

予選 8 位 / 決勝 11 位

「F3 の初レースで、自分自身のベストを尽くしました。まだまだマシンについて勉強しなければならない部分があると感じましたし、速いマシンにするためのポイントを、チームみんなで探しています。レース自体も、ほかのドライバーはみんなコンペティティブで難しい、レベルの高い戦いでした。レースが始まった時には少し緊張しましたが、これもいい経験になったと思います」

ALBIREXRT-WILSON

#22 長谷川綾哉 (Alb 新潟第 1 ホテル Suger: ダラーラ F308/トヨタ・トムス 3S-GE)

予選 2 位 / 決勝 5 位

「慣れていないこともあってスタートで出遅れ、その後も焦って巻き返しができませんでした。なんとか前の選手に追いついて並びかけたのですが、そこでも抜ききれず、オーバーランしてしまいました。そのミスから、自分のペースを取り戻すまでに、時間がかかりましたが、終盤には落ち着きも取り戻せましたし、走りのペースもつかめました。初戦を完走できたことは良かったと思いますし、次のレースは焦ることなく走れるよう頑張ります」

ALBIREX RACING TEAM レースレポート

2017年全日本F3選手権 第2戦 岡山国際サーキット

デビュー2戦目にして、長谷川選手が表彰台を獲得

岡山国際サーキットで開催された全日本F3選手権・第2戦で、アルビレックスレーシングチームの長谷川綾哉選手がF3-Nの2位となりました。

第2戦のスターティンググリッドは、公式予選でのセカンドベストタイム(2番目に速いタイム)で決定。ブルーノ・カルネイロ選手は予選8番手、長谷川選手はF3-Nの2番手となり、表彰台を十分に狙える位置からのスタートとなりました。

ところが、フォーメーションラップ中にアクシデントが発生。長谷川選手はピットスタートを余儀なくされました。コース上で全車がスタートを切ってから、長谷川選手もコース復帰。前の集団に追いつこうと懸命の走りを見せました。F3での2レース目ということもあり、序盤から安定したペースで周回を重ねた長谷川選手は、4周目には5位、6周目には4位と、じわじわと順位を上げていき、12周目には3位へと浮上。そのままチェッカーフラッグを受け、F3レース2戦目にして初表彰台を獲得しました。また、レース後に上位ドライバーへペナルティが課されたため、正式結果は2位となりました。

ブルーノ選手はレース序盤に9番手へと後退しますが、その後はチェッカーまで残り数周というところまで、後続の選手との接近戦を展開しました。1ミスでポジションが入れ替わりそうな戦いで、ブルーノ選手は終盤まで相手の選手を抑えていましたが、16周目に両者が接触。マシンにダメージを負ったブルーノ選手はそのままピットへ戻り、リタイアとなりました。

#21 ブルーノ・カルネイロ (AlbirexRT-WILSON: ダラーラ F315/ Mercedes-Benz 414)

予選8位 / 決勝リタイア

「スタートはうまくいったのですが、レースの終盤でほかのマシンと接触してしまいました。相手とは本当にぎりぎりの距離で戦いをしていたのですが、ポジションを守りきれず、リタイアとなったことは残念です。最後まで走りきれなかったことも残念ですが、マシンへの理解も進んだので、次のレースでは今回よりもいい走りができるはずだと思っています」

#22 長谷川綾哉 (Alb 新潟第1ホテル Suger: ダラーラ F308/トヨタ・トムス 3S-GE)

予選2位 / 決勝2位

「フォーメーションラップでエンジンストールしてしまったので、まずは無事に完走できてよかったです。ラッキーな形で表彰台にも上がることができましたが、落ち着いてレースができればもっといいペースで走れると思うので、第3戦では上位陣についていけるように頑張ります」

ALBIREX RACING TEAM レースレポート

2017 年 全日本 F3 選手権 第 3 戦 岡山国際サーキット

両ドライバーともに、週末の集大成を見せる

2017 年の全日本 F3 選手権・第 3 戦で、アルビレックスレーシングチームで、ブルーノ・カルネイロ選手は 11 位、長谷川綾哉選手は表彰台まであとわずかの F3-N の 4 位となりました。

第 1 戦の決勝結果によりスターティンググリッドが決定した第 3 戦。ブルーノ選手は 11 番手から、長谷川選手は F3-N の 5 番手からのスタートとなりました。好スタートを切ったブルーノ選手は、直後に予選 10 番手のマシンと接触。マシンのフロントウイングにダメージを追ってしまいました。チームは 1 周目を終えたホームストレート上を走行するマシンの破損状況を確認。レース続行に問題は無い程度と判断しブルーノ選手に伝えると、そこからは手負いのマシンで懸命の走り続けました。少しずつ、前のマシンからは離されていきましたが、レース終盤は毎周のように自己ベストタイムを更新。結果は予選順位と同じく 11 位となりましたが、全体で 8 番目に速いラップタイムを記録しました。

長谷川選手はスタート直後に 6 番手に後退しますが、3 周目に順位を取り戻すと、さらに前を追いかけました。だんだんと差が開きレース中盤からはバトルがなく単独走行となりましたが、その中でマシンの理解を深め、ペースを上げて 4 位でレースを終えました。

#21 ブルーノ・カルネイロ (AlbirexRT-WILSON: ダラーラ F315/ Mercedes-Benz 414)

予選 11 位 / 決勝 11 位

「週末を通して、とてもポジティブな経験を積めたと思います。最後のレースでは一番いいタイムを出すこともできました。これはチーム全員の努力の結果です。僕自身もマシンに慣れて、チーム全体としてもマシンの理解が進んだなと感じました。鈴鹿では、さらにみんなで成長できると信じています」

#22 長谷川綾哉 (Alb 新潟第 1 ホテル Suger: ダラーラ F308/トヨタ・トムス 3S-GE)

予選 5 位 / 決勝 4 位

「週末の中で一番いいスタートが切れたと思います。レース中のタイムも安定していて、内容は良かったと思いますが、結果はまだまだです。学ぶことがたくさんあった週末で、ドライビングもレベルアップできたと感じました。鈴鹿大会までに、またマシンのセッティングも進むと思うので、今回よりいい結果を出せるのではと期待しています」

中村寿和チーム代表

「まずは、2台揃ってレースウィークを走りきれたことを非常に嬉しく思っています。今年はF3-N車両に加え、メルセデスエンジンのマシンで戦うことになり、デリバリーの時点からちょっとしたトラブルがありましたが、開幕になんとか間に合わせたスタッフや、協力してくださった関係者の皆様に深く感謝します。開幕大会を無事に終えられたことで、鈴鹿に向けても各自の伸びしろや修正点を確認できました。これらを直していければ、鈴鹿大会が終わったところで、チームがものすごくいい状態になっていることが想像できます。さらなる好結果を目指し頑張ります」